

事務事業名		田中正造関係資料購入事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり			担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり			担当係		担当課長名	山口明良	
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	14864	一般	10	4	4	田中正造関係資料購入事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H25年度～H34年度		根拠法令 条例等					
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
					事業分類		その他内部事務事業			
					リーディングプロジェクト		該当なし			
					市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
田中正造翁没後百年顕彰事業の一環として、田中正造の行動と思想を後世に伝えるため、没後百年となる平成25年度から当面の間(10年間)、葉書、書幅等正造資料を継続的に購入し、正造翁の偉業を顕彰する。					○田中正造関係書簡等の購入 ・田中正造書幅 1点 「浪人の……」付激励文						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					購入資料数	点	3	1	2		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
正造関係博物館収蔵資料					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					正造関係博物館収蔵資料	点	14,150	14,154	14,164		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
正造ゆかりの博物館として、正造関係資料を継続的に購入し、博物館収蔵資料数の拡充を図る。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					正造関係収蔵資料数/収蔵資料数	%	38.5	38.5	38.5		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円		50						
	一般財源	千円	260	230	500					
	事業費計(A)	千円	260	280	500	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			庁用器具費	260	庁用器具費	280	庁用器具費	500		
	人件費	人	1	1	2					
のべ業務時間	時間	15	15	30						
人件費計(B)	千円	58	59	118	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	318	339	618	0	0				

事務事業名	田中正造関係資料購入事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	郷土博物館は、昭和58年11月に開館し、正造関係資料については約14,000点程収蔵しているが、近年、財政的な理由から正造関係資料を購入できない状況となっていた。そのため、田中正造翁没後百年となる平成25年から顕彰事業の一環として、継続的に購入するように、平成24年2月に田中正造翁没後百年顕彰事業庁内推進委員会において承認された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	東日本大震災等による原発問題や環境問題への関心が高まっているとともに、没後百年を契機として、正造翁の偉業を顕彰する重要性が深まってきている。美術品や正造関係資料については、景気の低迷に伴い、以前と比べて比較的安価な値段で市場に出回っているため、購入しやすい状況にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	一般市民等から、正造資料を博物館で購入して欲しいとの話が時々ある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	郷土の偉人である田中正造の資料を購入することができれば、地域の歴史に触れることが増え、市内外の人々に佐野市の歴史を知ってもらうとともに、市民の郷土への誇りと愛着心を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	正造翁の偉業を永く後世に伝えるために、正造ゆかりの博物館として、正造関係資料を積極的に購入することは、博物館の責務であり、NPOや市民団体に委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	郷土博物館は、田中正造ゆかりの博物館として従来から正造の顕彰を図っており、没後百年を契機として田中正造の貴重な資料を購入し、後世に伝え、地域に誇りと愛着を持つ人々を育成することは、博物館の重要な役割である。対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	日頃から情報収集に努め、田中正造関係資料が市場に出まわっていないかを確認し、資料購入を迅速に行うことで、より多くの資料を収集することができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	* 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	必要最低限の資料購入費のためのため、事業費を削減することはできない。人件費も同様である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	郷土博物館で購入する資料であるため、受益者負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)		
	顕彰事業の目的である「正造翁の偉業を広め、永く後世に伝える」ためには、継続的に資料収集を行うことが必要であるため、10年という一定期間の購入計画を立てている。正造関係の資料は、市場に出回っているためすぐに事業終了となることは考えられない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			